

平成 29 年度 第 3 回南区まちづくり懇話会 会議録

1 日時 平成 29 年 9 月 26 日（火） 午後 3 時から 5 時まで

2 場所 熊本市南区役所 3 階ホール

3 (1) 出席委員

前出委員、木村委員、野口委員、小山委員、海平委員、松浦委員、正木委員、岡委員（副会長）、芥川委員、大澤委員、奥田委員、柴田委員（会長）、大村委員、藤本委員

(2) 出席職員

区民部長、保健福祉部長、総務企画課長、飽田まちづくりセンター所長、天明まちづくりセンター所長、幸田まちづくりセンター所長、南部まちづくりセンター所長、富合まちづくりセンター所長、城南まちづくりセンター所長、城南交流室室長、保健子ども課長、福祉課長、南農業振興課長

4 配布資料

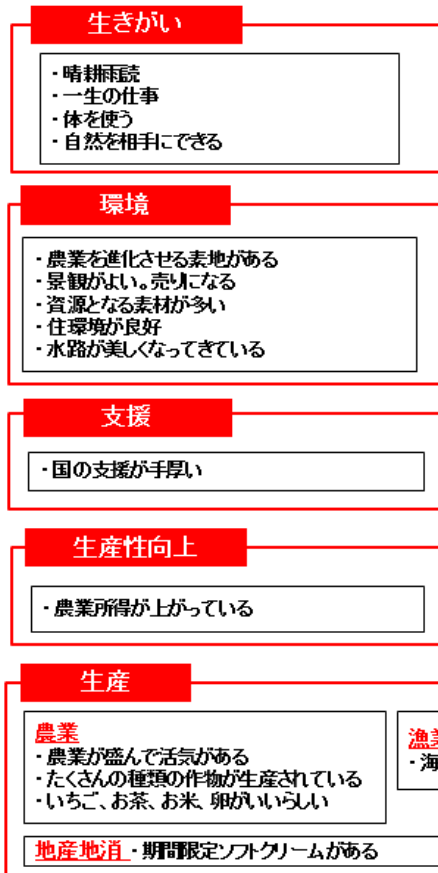
- (1) 一会議次第
- (2) 一委員名簿
- (3) 一資料「南区まちづくりワークショップのまとめ」

5 次 第

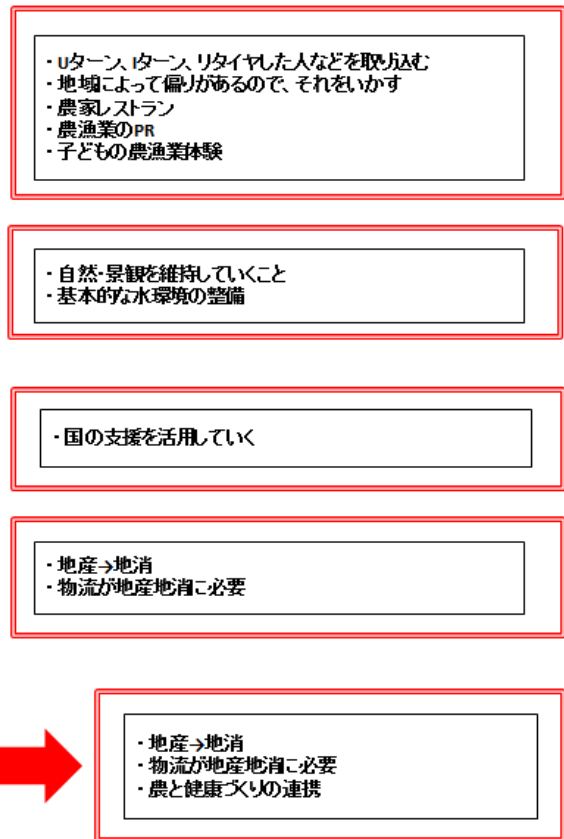
- (1) 開会
- (2) ワークショップ
 - ① 「南区の○と×」
 - ② 「×を○にするためには」「○を◎にするためには」

6 懇話会ワークショップの結果

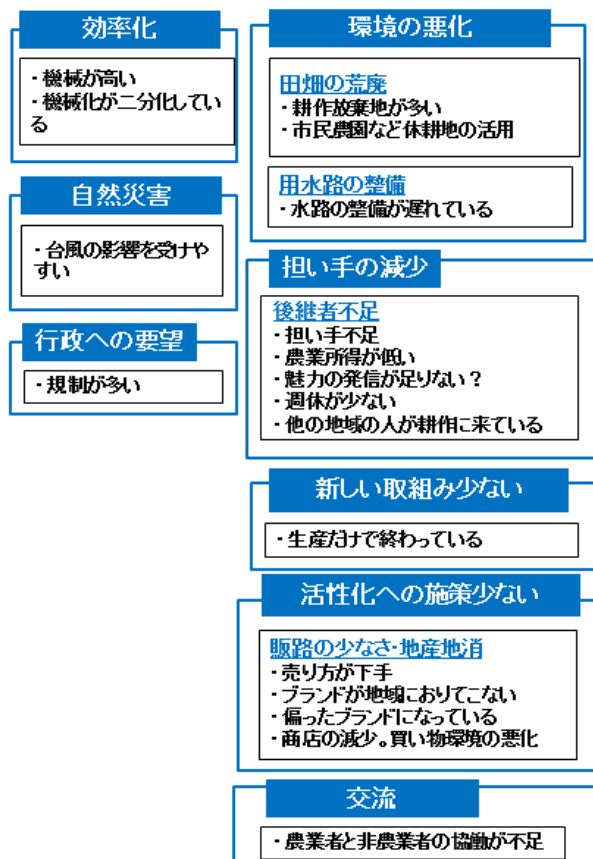
<農・漁業○>



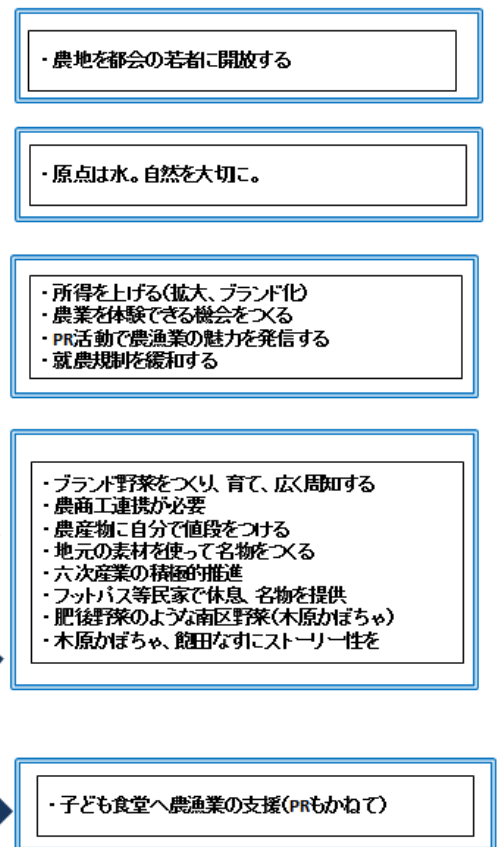
<農・漁業○→◎>



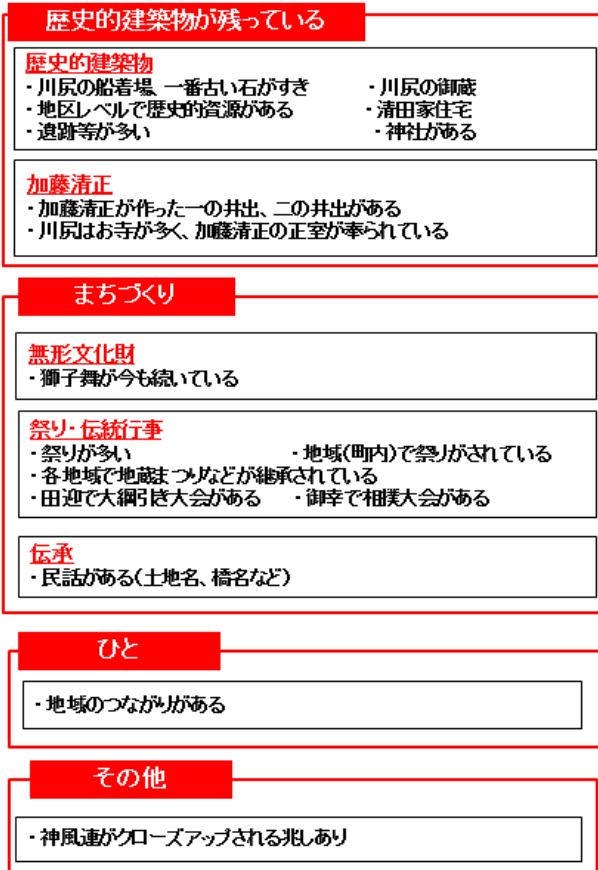
<農・漁業×>



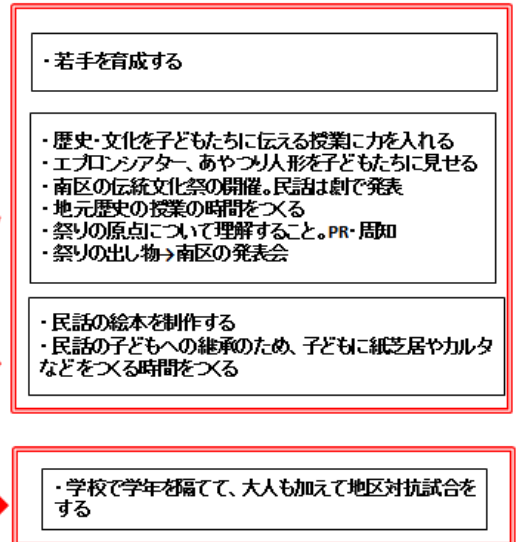
<農・漁業×→○>



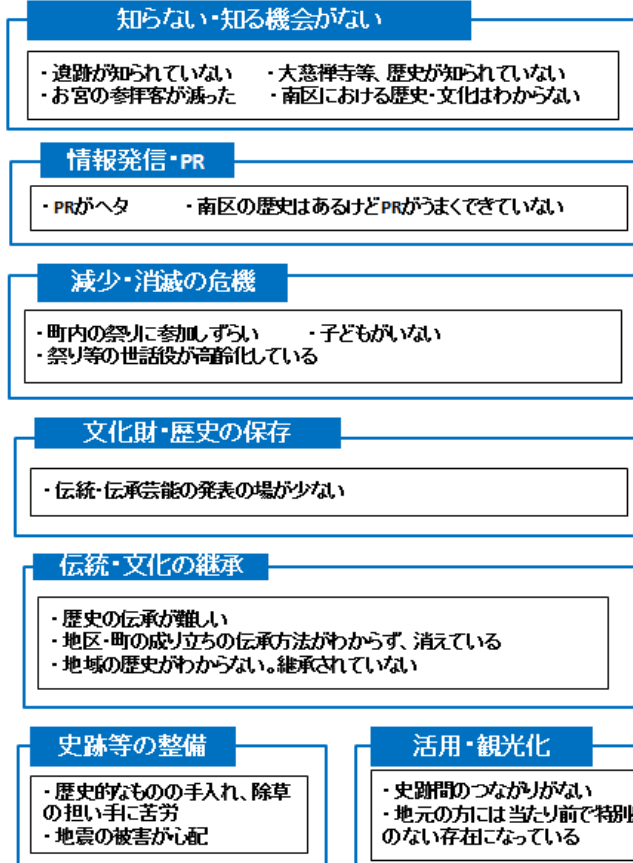
<歴史・文化○>



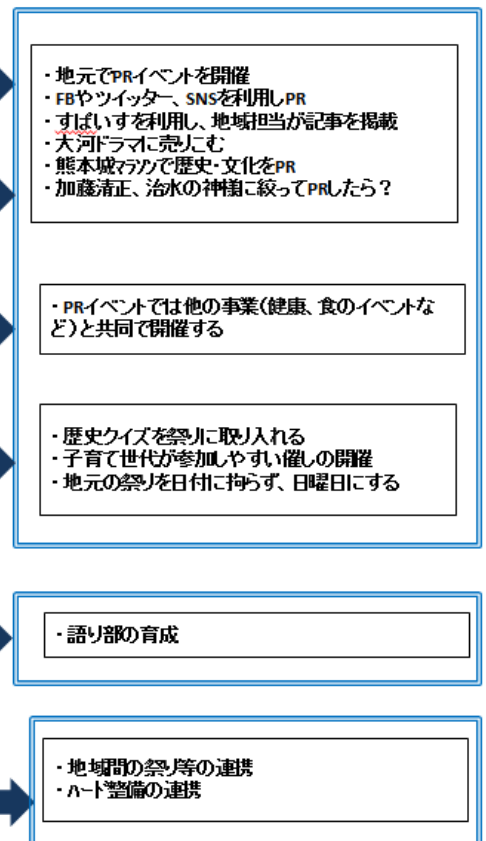
<歴史・文化○→◎>



<歴史・文化×>



<歴史・文化×→◎>



<自然○>

自然が豊か

・わき水が出る

名所

・三大不動尊
・新幹線車両基地

山・海・川

・海からの風がきもちいい
・山がある。雁回山
・海がある。アサリ、メ、ハマグリ
・海・山・川と自然が豊か
・大きな河川がある。緑川・白川

景観

・空が広い
・ビルが少なく、見渡しがよい

交通

・大きなバイパスがある

地産地消

・トマト、ナス、きゅうりと実りを感じられる
・田んぼがたくさんある

生態系が豊か

・海の魚と川の魚と両方ある
・川にたくさん魚がいる
・緑川でエビ釣りができる
・水辺の生物が多い

自然とのふれあい

・子どもたちの貝堀り大会
・ハイキング大会
・タケノコ堀りができる

<自然○→◎>

・アスレチックツリーハウスをつくる
・ハイキングコースなどをSNSでPR

・特産品を活用
・観光資源を活用する
・全国的に宣伝する

・子どもたちの農業体験

・寺子屋をつくる

・河川をいかしたカヌー体験
・豊田国有林の竹林でタケノコ堀り

<自然×>

環境の整備

・雁回山の入り口が暗くて怖い
・用水路が多く、キケン

自然を活用した施設の整備・活用

・公園が少ない
・公園の雑草が残っている

生態系の悪化

・外来魚多い
・ジャンボタニシがまだいる
・蜆がいなくなった

自然の減少

・湧き水が少なくなった

情報発信が必要

・メリ穴の蜆知らなかった

自然災害への対応

・川の氾濫が怖い
・山・海・川があり、自然災害を受けやすい
・雁回山のため池
・治水。土砂災害が心配
・風水害。河川怖い
・液状化の影響

<自然×→○>

・用水路に力をする

・雁回公園、塚原古墳を整備して利用する！
・明るく、木陰がある
・地域との除草活動
・緑川、浜戸川、加勢川をうまく活用してウォーキングコース（目印をつける）

・食用等の活用の推進

・メリ穴の蜆を広報する。蜆祭りとか？

<健康O>

健康に関する活動

地域の活動

- ・PPKC活動(100歳体操)、ころぼん予防教室がある
- ・健康まちづくり活動、8020運動が盛ん
- ・町民運動会、地域(校区)スポーツ大会がある
- ・熊本城マラソンで地域が元気

グランドゴルフが盛ん

- ・グランドゴルフが盛ん

サロン活動

- ・サロン活動に今日も17人参加(8020おやつ)
- ・サロンでおやつ手作り(ボランティアで5~6人)

<健康O→O>

- ・元気クラブの手続きが大変なので簡素化してほしい
- ・地域サポーターの養成
- ・自分たちで自主的に活動しないと続かない

- ・空き家を活用して近くでサロン
- ・少人数で楽しめるこじんまりとした集会場
- ・自然に集まるクセがつくような仕掛け
- ・活動の場を空いた仮設住宅を使う
- ・いつでも、どこでも、だれでも気軽に行ける仕組み、仕掛け

施設・設備

体を動かす場所がある

- ・自然に恵まれている(山、川)
- ・緑が多くて癒される
- ・空気がきれい。自然が豊か
- ・スポーツ施設が充実している
- ・公園が多い
- ・遊ぶ場所が多い。公民館、川原

食べ物

- ・食材が恵まれている
- ・食べ物(野菜・果物)豊富

生涯現役

- ・農漁業で生涯現役多い

習慣

個人の健康管理

- ・市全体で見ると南区の検診受診率は高い

<健康X>

交通手段

施設への交通手段

- ・交通手段が多い(施設間)
- ・交通の便も少し

道路状況

- ・歩道が狭い

病院利用

定期検診

- ・検診率が年齢で違う(若い人が少ない)

施設・設備

新規運動施設の要望

- ・富合はウォーキング施設がない

食生活

- ・食べすぎ

- ・饅頭が多い(糖分とりすぎ)
- ・農業の人は塩分が多い

生活習慣

- ・車社会→運動不足
- ・昼休みに歩かなくなった

<健康X→O>

- ・近くの小さいサロンを増やす
- ・日ごろの小規模の集まりは災害時の安否確認にもつながる

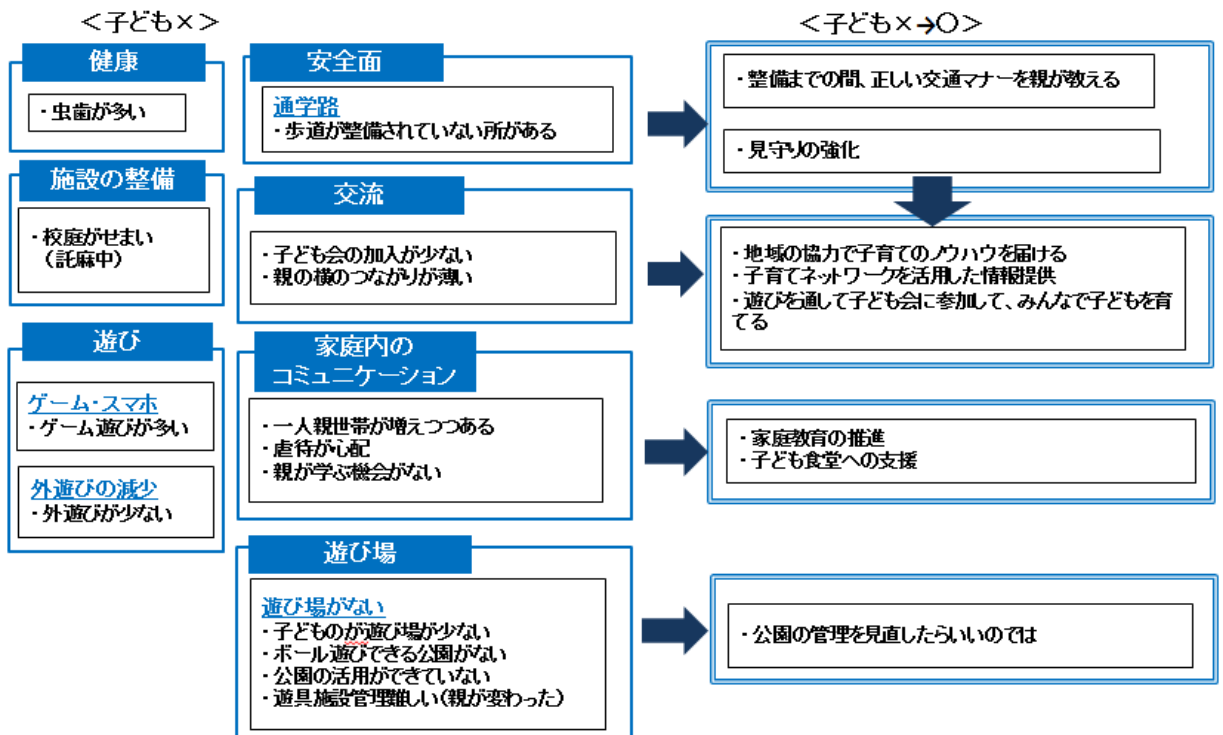
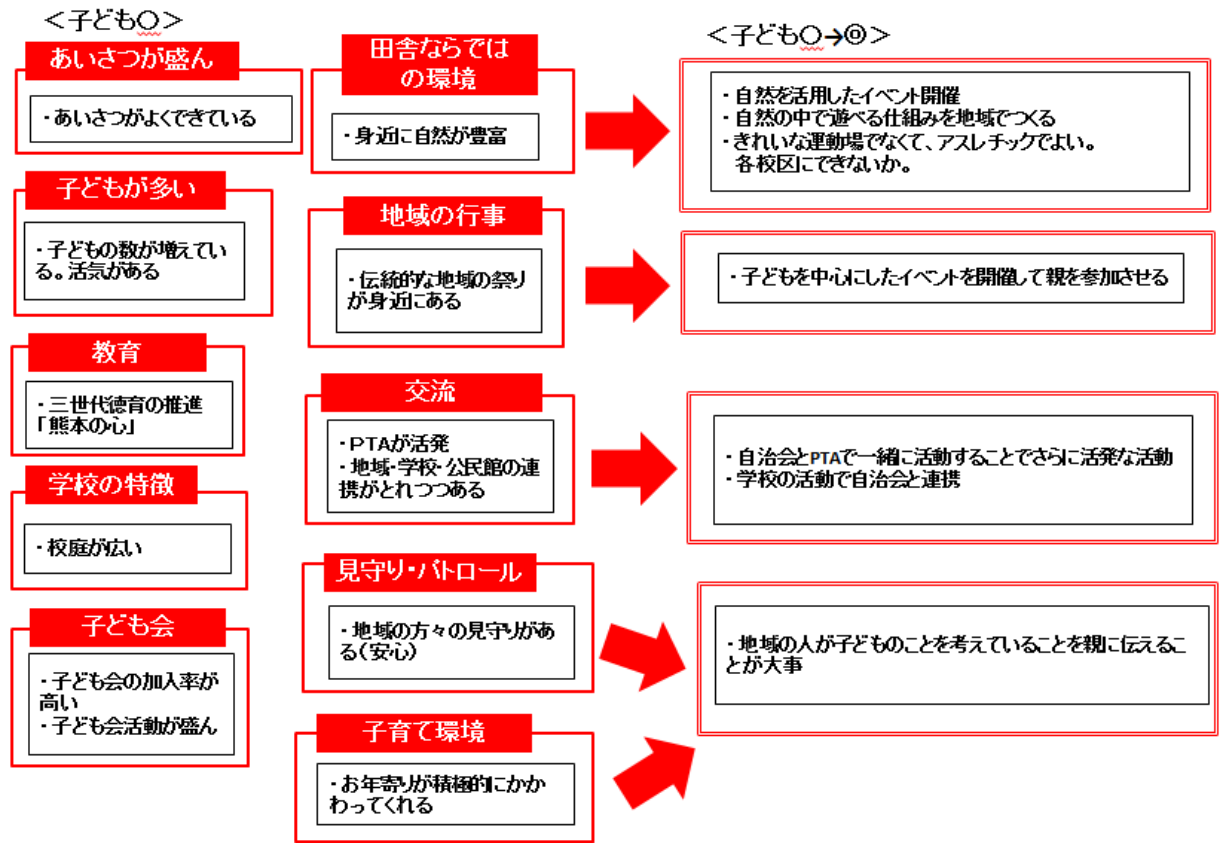
- ・大型バスを→中小型に数多く

- ・広報活動を利用して受信率アップ
- ・子の世代にツケを回さないよう本人の意識改革!
- ・健康寿命を意識するPR! 南区が一番長い

- ・趣味に没頭する

- ・市施策で生活習慣病予防を!
- ・食改PRをもっと!

- ・川沿いなど南区の名所をめぐるサイクリングロード
- ・サイクリングロードをつくる
- ・働く世代が参加できるようなスポーツ行事



<安全・安心〇>

住民の活動

見廻り・パトロール

- ・青バトで月3回見廻しているの、安心
- ・青バトのパトロール
- ・見守り活動
- ・地域の方の見守りがありがたい

防災

- ・防災意識が高まってきた
- ・防災訓練を消防署、消防団、自治会、婦人会連携で行っている

住民性

- ・助け合いの精神がある

仕組み

- ・駐在所との連携

<安全・安心〇→◎>

- ・活動者を増やす

- ・消防団との連携
- ・防災の一番の基本は、地域の歴史(災害史)を知ること

防犯

- ・犯罪が少ない
- ・自宅を出発して、仕事して帰るまで身の危険を感じない

- ・地域のつながり、自治会の強化
- ・地域で防犯灯を整備することが大事

<安全・安心×>

災害

核

- ・核への不安

避難所

- ・避難所の設置
- ・沿岸部に高潮・津波の避難所がない

防災

- ・冠水対策
- ・台風、高潮など受ける被害予想不足。不安が先行

<安全・安心×→〇>

- ・小学校の屋上を利用

- ・情報提供の迅速化(防災無線など)

防犯

- ・交番が少ない
- ・人の目が少ない
- ・空き家が増えている
- ・空き巣が増えている

- ・地域住民のつながり強化

- ・犯罪のない、明るく住みよいまちづくり

子ども

- ・子どもの遊ぶところが少ない

交通

- ・道路が狭い
- ・歩道の設置
- ・交通量の多い道路が多く、歩行者、自転車はキケン
- ・通学路の整備
- ・路上駐車

- ・裏道を利用する

- ・地域社会との連携強化、身近な環境整備

環境

ごみ

- ・ボイ捨て多い

水路

- ・水路が多い
- ・農業期は水が多く、キケン
- ・水路にガードレールがない